

# 庄内川タイムライン検討会の概要

- ・ タイムラインにおけるリーディング・プロジェクトとして、地下施設を有する企業とともに庄内川が決壊し名古屋駅周辺地区が浸水することに備えたタイムラインの検討を実施
- ・ 今年度、庄内川決壊対応タイムライン検討案を取りまとめ、次年度以降も引き続き改善にむけた検討会を実施予定

## 構成員

座長：松尾一郎氏（CeMI環境・防災研究所副所長）  
 アドバイザー：関 克己氏（京都大学客員教授）  
                   市澤成介氏（元気象庁予報課長）  
                   山崎 登氏（NHK解説主幹）  
 構成員：庄内川河川事務所、名古屋地方气象台、愛知県、愛知県警察、  
           名古屋市、名古屋駅地区街づくり協議会、名古屋駅地区防  
           火・防災管理協議会  
 オブザーバー：中部運輸局、中部地方整備局

## 【検討対象範囲】庄内川流域の名古屋駅周辺



## 検討会の開催状況

平成26年6月4日「庄内川タイムライン検討会」を設置

平成26年7月24日「第2回 検討会」  
 平成26年8月26日「第3回 検討会」

H26出水期に実際の台風（台風第18号、第19号）にて、  
**情報・危機感共有**の実施

平成26年10月22日「第4回 検討会」  
 平成26年11月28日「第5回 検討会（図上訓練）」  
 平成27年2月3日「第6回 検討会」

庄内川決壊対応タイムライン検討案を取りまとめ

## 庄内川の堤防が決壊した場合の想定最大浸水深



# 平成26年度 庄内川決壊対応タイムライン検討案の概要

## 1. 想定ハザード

- **名古屋直撃型の台風を想定**
- **確率規模1/200**の降雨に伴い、庄内川左岸が決壊し、**名古屋駅周辺が約2m**浸水する被災シナリオを想定

## 2. 平成26年度 庄内川決壊対応タイムライン検討案の概要

- 台風の名古屋最接近を基準として、時系列に各機関の防災行動を整理
- 地下施設を有する企業(地下街管理者等)も参加し、タイムラインを作成

## 3. 見込まれる効果と課題

### 〈効果〉

- タイムラインの検討過程を通じて、参画機関と顔の見える関係を構築することができ、台風時には、より**連携の取れた災害対応**が可能となる。
- タイムラインの構築による防災行動項目の見える化により、**確実な防災行動の実施**が可能となる。
- 台風時に、**情報・危機感共有を行うこと**により、各機関が**早めの判断・行動を行う**ことが可能となる。

### 〈課題〉

- 今後、東海豪雨のような**前線による降雨が先行する台風**や**内水への対応**について検討が必要。
- **地下街の滞留者に対する情報提供など**をどのように行うかについて検討が必要。

## 4. 平成27年度以降のスケジュール

- 次年度以降引き続き検討会を行い、課題点を改善
- 地下街WGを設置し、地下街対策についての議論を実施
- 平成27年度、台風に対して検証を実施

# 平成26年度 庄内川決壊対応タイムライン検討案の見方

## 平成26年度 庄内川決壊対応タイムライン検討案 (名古屋駅地区の浸水を想定)

- ◆ 本検討案は、確率規模1/200の降雨に伴い、庄内川左岸が決壊し、名古屋駅周辺が約2m浸水する被災シナリオに基づき作成したものである。
- ◆ 本検討案は、検討途上であるため、主たる項目を記載したものであり、各機関が行う行動を網羅的に整理したものではない。
- ◆ 対応時間は、1つの想定台風シナリオに基づいて、名古屋最接近からの逆算したものであり、実際の台風速度、降雨パターンにより台風毎に変化する可能性がある。
- ◆ 本検討案は、現段階において地域防災計画などの既存の計画を補完するためのチェックリストとして活用するものであり、各機関の行動・タイミングを規定したものではない。
- ◆ 本検討案は、降雨による水位上昇、堤防決壊を想定した時系列にて防災行動を整理したものであり、暴風により行動のタイミングは変化することがある。

何時(いつ)		行動 (なにを)	機関・組織・団体 (だれが)					
気象(台風)等の推移	目安となる 対応時間	防災行動項目	<small>◎: 行動の中心になると考えられる主体、情報等の発信元と想定される主体 ○: 行動を補助・支援するなど連携が考えられる主体、情報等を直接受信し伝達すると想定される主体 △: 情報を間接的に受け取り、判断や行動に活用する主体</small>					
			庄内川河川事務所	名古屋地方気象台	名古屋市	愛知県	地下施設を 有する企業	住民・利用者
台風による 影響が名古屋圏で予想された時	-48~-24h	名古屋圏への影響の可能性等の台風情報の発表・伝達	○	◎	◎	○	○	△
		人員配置・応援体制の事前確認	◎	◎	◎	◎	◎	
		河川関連施設・危険箇所の巡視・点検	◎		◎	○	◎	
		防災資機材の確認・準備	◎	◎	◎	◎	◎	
		道路の通行規制の事前確認	◎		◎	◎		
		休校・休業に向けた事前確認			◎	○	◎	

○気象台からの台風情報の発表・伝達

○台風情報を受けた各機関の行動

◎ → 情報の発表者  
○ → 情報の受信者(直接)  
△ → 情報の受信者(間接)

◎ → 行動の実施者  
○ → 行動の支援者  
△ → 他の行動に活用する者

## 平成26年度の検討会開催状況

### 第1回 庄内川タイムライン検討会(H26.6.4)

- ・タイムラインの検討に用いる想定ハザードについて
- ・東海豪雨時の対応の振り返り

### 第2回 庄内川タイムライン検討会(H26.7.24)

- ・名古屋駅周辺の現地視察(浸水深(2m)の確認、地下街止水板の確認)
- ・ワークショップの実施(テーマ:「それぞれの立場で市民や利用者の命を守るために、取るべき行動は何か」)  
→防災行動項目の洗い出し

### 第3回 庄内川タイムライン検討会(H26.8.26)

- ・ワークショップの実施(テーマ:「被害を最小化するための防災行動の抽出とタイムラインたたき台の作成」)  
→被害量(リスク)を踏まえた防災行動項目の抽出・整理

### 第4回 庄内川タイムライン検討会(H26.10.22)

- ・ワークショップの実施(テーマ:「事前防災行動項目の流れと時間(リードタイム)の整理」)  
→リードタイムを踏まえた防災行動項目の整理

### 第5回 庄内川タイムライン検討会(H26.11.28)

- ・図上訓練  
→実運用による課題の洗い出し

### 第6回 庄内川タイムライン検討会(H27.2.3)

- ・タイムライン(H27.3)について
- ・平成26年度の検討会のとりまとめ